

情報リテラシー(第13回 後期)ハンドアウト

生成AIと倫理的課題

1. 今日のねらい

- 生成AIの基本概念を理解できる
 - 生成AIの倫理的課題を知る
 - NotebookLMとCopilotの違いを理解できる
 - 生成AIを学習に活用する方法を知る
-

2. 生成AIとは

定義: 新しいコンテンツを生成するAI

特徴: テキスト、画像、音声、動画などを生成／深層学習を活用／大量のデータから学習／人間のような創造的な出力

第12回との繋がり: 深層学習の応用として生成AIが発展

3. 生成AIの種類

テキスト生成AI: ChatGPT、Claude、Copilot（会話、文章作成、翻訳、要約）

画像生成AI: Stable Diffusion、DALL-E（テキストから画像を生成）

音声生成AI: Siri、音声合成

その他: 動画生成、音楽生成、コード生成

4. 生成AIの倫理的課題

バイアスと公平性: 学習データのバイアスが反映される／特定の人種、性別、年齢に偏った出力／「AIのバイアス」と同じ問題

誤情報（ハルシネーション）: AIが事実でない情報を生成／もっともらしい嘘を出力／真実かどうかの確認が必要

著作権の問題: 学習データの著作権は？／生成物の著作権は誰のもの？／法整備が追いついていない

プライバシー: 入力した情報が学習に使われる可能性／個人情報の漏洩リスク／機密情報を入力しない

依存と思考力の低下: 自分で考えなくなる／批判的思考力の低下／創造性の減少

悪用のリスク: フェイクニュース、ディープフェイク／なりすまし、詐欺／試験でのカンニング

対策: 批判的思考、ファクトチェック／プライバシーポリシーの確認／AIは補助ツール、最終判断は人間／倫理的な使用、リテラシー教育

5. NotebookLMとCopilot

NotebookLM（Google提供） : <https://notebooklm.google.com> /アップロードした資料のみを参照／ドキュメント分析に特化／引用元が明確／資料ベースで信頼性が高い／復習・資料分析に最適

Copilot（Microsoft提供） : <https://copilot.microsoft.com> /GPT-4ベース／汎用的な質問応答／テキスト・画像・コード生成／一般知識で回答／引用元が不明確／ハリシネーションの可能性あり／アイデア出しに最適

使い分け: NotebookLM→資料に基づく復習・分析／Copilot→一般的な質問・アイデア出し／両方ともGoogleまたはMicrosoftアカウントで無料利用可能

6. 今日の実習

Part 1: NotebookLM実習: NotebookLMにアクセス→第9回から第12回のハンドアウト（PDF）をアップロード→要約を確認→質問応答（例：「機械学習の3つの分類は？」）

Part 2: Copilot紹介: Copilotにアクセス→NotebookLMと同じ質問をする→回答を比較

Part 3: まとめ: 2つのツールの違い、課題の説明

7. 注意点（批判的思考の重要性）

AIの回答を鵜呑みにしない: NotebookLMもCopilotも完璧ではない／間違った情報を出すことがある／特にCopilotはハリシネーションの可能性

批判的に読む: おかしいと思ったら資料を確認／複数の情報源を比較／最終判断は自分で行う

AIは学習を助けるツール: 考えることを放棄しない／理解を深めるために使う／自分の言葉でまとめる

8. 課題

NotebookLMとCopilot比較レポート (800-1000字、Word形式、Teams提出)

構成: 1.はじめに 2.NotebookLMでの結果（質問3つ以上と回答要点） 3.Copilotでの結果（同じ質問の回答）
4.比較と分析（共通点・違い、信頼性・使いやすさ） 5.総合考察（自分の意見） 6.参考資料（任意）

注意: AIの回答をそのまま写さず、自分の言葉でまとめること

9. まとめ（キーワード）

生成AI／テキスト生成AI／画像生成AI／ChatGPT／Claude／Copilot／Stable Diffusion／バイアス／ハリシネーション／著作権／プライバシー／依存／悪用／NotebookLM／批判的思考／ファクトチェック